

一般社団法人日本補聴器工業会の発表による補聴器出荷台数は585,255台（前年比104.0%）と超高齢社会の中で徐々にではありますが補聴器の活用が浸透し始めてきたと感じます。また昨年4月の補装具費に係る算定基準の改定により、認定補聴器技能者による調整に2,000円の加算が可能となり、更に認定補聴器技能者の役割に期待がされるようになってまいりました。このような中、当協会は難聴者のために積極的な活動を行ってまいりましたので報告いたします。

活動の中心となるスキルアップのためのHHPプログラムは、通常の研修会のほか、「事例検討会」を多くの会員の皆様に受講していただけるよう東京、大阪、福岡の3都市で開催し、認定補聴器技能者が質の高い適合技術による補聴器の適正供給を継続するための実践的なプログラムを実施いたしました。この事例検討会は一般社団法人日本補聴器販売店協会（以下、販売店協会）の支部との共同で開催するなど各地域において活動の連携が取れるようになってまいりました。また女性会議HHPプログラムも初めての地方開催として大阪で開催し、普段参加できなかった方の参加も得られ、好評のうちに終了することができました。

販売店協会が厚生労働省から委託を受けて実施している「補聴器販売者の技能向上研修等事業」につきましては、今年度も継続して委員、講師を派遣しました。補聴器を販売するにあたって必要な知識・技能についての周知に取り組むとともに認定補聴器技能者の拡充に努めてまいりました。

公的資格化については、業界3団体が主催する朝食勉強会にて、武見敬三参議院議員を中心に政官学産による公的支援・公的資格を目的とした意見交換を中心に取り組んでまいりました。1月には参議院自由民主党政策審議会で業界3団体のヒヤリングが実施され、補聴器購入費の公費助成の拡大や公的資格化について要望してまいりました。「難聴」への関心が社会全体に広がりを見せ、「きこえ」への取り組みが認知機能の低下予防に繋がる可能性が高いとの見解が徐々に浸透してきたことが実感できる一年でした。

その他各委員会WGの活動の詳細は別に報告させていただきます。

〔会員構成〕

会員の別	期首	期末	増減
一般会員	9名	9名	0名
資格認定会員	625名	621名	△4名
準会員	168名	168名	0名
賛助会員(法人)	7社	8社	1社
賛助会員(個人)	3名	4名	1名
特別会員	0名	0名	0名
会員合計	812名	810名	△2名

〔事業報告〕

○特定非営利活動に係る事業について

2018年度の重点活動目標として次の4項目を掲げて活動しました。

1. 補聴器技能者の育成事業（定款第5条第1項1号①）
 - ① HHP研修会を開催しました。(9回)
 - ② 新しい禁忌8項目の周知のため研修会を開催しました。
 - ③ 「補聴器技能者のためのポケットガイド」原案を作成しました。
 - ④ 会誌「The MiMi Tribune」を発行し、情報提供を行いました。
 - ⑤ テクノエイド協会の認定補聴器技能者養成事業等に協力しました。
2. 補聴器技能者の普及啓発事業（定款第5条第1項1号②）
 - ① メールマガジンを適宜発行し最新情報を提供しました。
 - ② 各地の各種団体が主催する講習会へ講師を派遣する他、ユーザー団体、高齢者団体等へも積極的な交流に務めました。
 - ③ 協会ウェブサイトの一部リニューアルを検討しました。
3. 本法人の関連学会・団体との情報交換及び研究等共同事業（定款第5条第1項1号③）
 - ① 業界団体との意見交換会等に参加しました。
 - ② 武見敬三参議院議員と業界3団体による勉強会に参画しました。
4. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条第1項1号④）
 - ① 参議院自由民主党政策審議会に出席し公的資格化について要望をしました。
 - ② 会員名簿を作成し、関係諸団体への送付や催事等で配布しました。
 - ③ 各種講習会やイベント等で入会募集活動を行い、61名が新たに入会しました。
 - ④ 厚生労働省委託事業に委員・講師を派遣し、運営等に協力しました。

○その他の事業（定款第5条第2項）

実施しておりません。

第1号議案 事業報告

〔主な活動内容〕

以下に2018年度の主な活動報告を記します。

- 4月 ○第37回理事会 ○HHP研修会 ○合同三役会議 ○講師派遣（販売店協会支部総会）
○武見敬三参議院議員と業界3団体の勉強会
- 5月 ○会計監査会 ○T.M.T.18号発行
- 6月 ○販売店協会総会に出席 ○HHP研修会（販売店協会共催） ○第13回通常総会
○第38・39回理事会 ○日補工主催の意見交換会に出席 ○ポケットガイドWG
○厚生労働省委託事業第1回事業企画推進委員会に出席
- 7月 ○合同三役会議 ○HHP研修会 ○総務委員会 ○講師派遣（京都府難聴者協会）
- 8月 ○30周年記念誌編纂委員会 ○講師派遣（補聴器販売者技能向上研修）
- 9月 ○教育・研修委員会 ○T.M.T.19号発行 ○講師派遣（補聴器販売者技能向上研修）
○全難聴シンポジウムに出席 ○ポケットガイドWG
○JAPAN補聴器フォーラム2018補聴器相談コーナーに人員派遣
- 10月 ○講師派遣（公益財団法人船橋市福祉サービス公社 他） ○女性会議WG
- 11月 ○全国福祉用具相談・研修機関協議会 ○HHP研修会（福岡・大阪・東京）
○合同三役会議 ○講師派遣（寿台地区福祉協議会 他）
- 12月 ○広報委員会 ○第40回理事会 ○T.M.T.20・21号発行
○日補工主催の意見交換会に出席 ○講師派遣（長野県聴覚障がい者情報センター 他）
○厚生労働省委託事業第2回事業企画推進委員会に出席
- 1月 ○年始挨拶回り ○合同三役会議 ○講師派遣（補聴器販売者技能向上研修）
○参議院自由民主政策審議会に出席 ○女性会議WG
- 2月 ○HHP研修会（女性会議）○販売店協会・工業会創立30周年記念式典に出席
○講師派遣（補聴器販売者技能向上研修）
- 3月 ○厚生労働省委託事業第3回事業企画推進委員会に出席
○武見敬三参議院議員と業界3団体の勉強会

※T.M.T.とは会誌「The MiMi Tribune」のことです。

HHP研修会 実施一覧

開催日	カテゴリ	タイトル・場所
4/5	1	各種書類の記入方法について（東京）
6/14	2	新しい禁忌8項目について（東京）
7/26	1	認定補聴器技能者試験受験願書記入のポイント（東京）
11/8	3	補聴器フィッティング事例検討会（福岡）
11/10	2・3	禁忌8項目の解説と意義・補聴器フィッティング事例検討会（大阪）
11/22	2・3	禁忌8項目の解説と意義・補聴器フィッティング事例検討会（東京）
2/2	4	女性会議 補聴効果の測定結果と再調整（大阪）

HHP全カテゴリ一修了者 17名（2019年3月31日現在）

以上、2018年度の事業報告に当たり、会員各位のご協力に感謝申し上げます。

決算報告

2018年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現金預金			
現 金	128,713		
普 通 預 金	6,941,054		
郵 便 貯 金	986,341		
流動資産合計		8,056,108	
資産合計			8,056,108
II 負債の部			
流動負債			
未 払 金	127,760		
前 受 金	6,000		
流動負債合計		133,760	
負債合計			133,760
III 正味財産の部			
正味財産			7,922,348
(うち当期正味財産増加額)			(516,652)
負債及び正味財産合計			8,056,108

※正味財産には設立登記時の資産66,706円を含む。

第2号議案 決算報告

2018年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

自 2018年4月1日 至 2019年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 一 決 算
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入	150,000	110,000	40,000
会費収入	9,015,000	8,263,500	751,500
	9,165,000	8,373,500	791,500
2 事業収入			
育成事業	720,000	617,100	102,900
普及啓発事業	15,000	20,000	△5,000
	735,000	637,100	97,900
3 補助金等収入			
助成金収入	300,000	300,000	0
	300,000	300,000	0
4 雑収入			
受取利息	100	59	41
	100	59	41
収入合計	10,200,100		9,310,659
			889,441
II 支出の部			
1 事業費			
育成事業	3,370,000	757,485	2,612,515
普及啓発事業	1,300,000	930,298	369,702
研究事業	200,000	163,270	36,730
	4,870,000	1,851,053	3,018,947
2 管理費			
会議費計	3,300,000	2,398,218	901,782
理事会費	1,000,000	794,160	205,840
その他会議費	1,000,000	1,021,438	△21,438
教育・研修委員会	350,000	208,460	141,540
広報委員会	300,000	41,880	258,120
総務委員会	200,000	121,560	78,440
ワーキンググループ等	450,000	210,720	239,280
総会費	1,000,000	1,037,959	△37,959
旅費交通費	300,000	962,770	△662,770
通信費	320,000	500,465	△180,465
消耗品費	300,000	466,760	△166,760
図書費	5,000	0	5,000
支払手数料	30,000	42,984	△12,984
賃貸料(家賃)	600,000	600,000	0
租税公課	3,000	600	2,400
顧問料(税理士他)	30,000	8,640	21,360
事務委託費	900,000	900,000	0
雑費	1,000	528	472
渉外費	50,000	24,030	25,970
	6,839,000	6,942,954	△103,954
支出合計	11,709,000		8,794,007
			2,914,993
当期収支差額	△1,508,900		516,652
前期繰越収支差額	7,338,990		7,338,990
			0
次期繰越収支差額	5,830,090		7,855,642
			△2,025,552

第2号議案 決算報告

2018年度 特定非営利活動に係る事業会計正味財産増減計算書

自 2018年4月1日 至 2019年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額		
(増加の部)			
資産増加額			
当期収支差額	516,652	516,652	
負債減少額			
増加額合計			516,652
(減少の部)			
資産減少額			
当期収支差額	0	0	
負債増加額		0	
減少額合計			0
当期正味財産増加額			516,652
繰越正味財産額			7,405,696
期末正味財産合計額			7,922,348

2018年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現 金	128,713		
普 通 預 金	6,941,054		
郵 便 貯 金	986,341		
技能者協会	135,511		
JHITA研修会	850,830		
流動資産合計		8,056,108	
資産合計			8,056,108
II 負債の部			
流動負債			
未 払 金	127,760		
前 受 金	6,000		
流動負債合計		133,760	
負債合計			133,760
正味財産			7,922,348

注記 普 通 預 金 みずほ銀行 神田駅前支店 普通預金 2126161
 郵 便 貯 金
 技能者協会 振替貯金 00130-5-631089
 JHITA研修会 振替貯金 00180-1-299580
 未 払 金 旅費交通費(1名分 10,000円)
 前 受 金 消耗品費(リーフレット作成費等 117,760円)
 次年度分会費(準会員1名分)

以上のとおり報告いたします。

2019年6月14日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
理 事 長 阿部 秀実

監査報告書

特定非営利活動促進法18条の規定に基づき平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の業務監査及び会計監査を実施した。


業務監査(理事の業務執行の状況に関する監査)に当たっては、理事会他の会議に出席し、必要と認める場合には質問をおこない、意見を表明した。

会計監査(財産の状況に関する監査)に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問等を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。

ここに、上記期間に係る事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が平成31年3月31日における財産の状況を適正に表示しているものである。

令和元年5月15日

監事 瀬部保夫 

監事 倉永好章 